

# はばたき

2017 冬号 第44号[通巻第155号]  
平成29年1月発行[季刊]

編集・発行／佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地(広報委員会)  
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujuujikai.or.jp  
社会医療法人財団 白十字会ホームページ <http://www.hakujuujikai.or.jp>



はばたき第44号 ● もくじ

表紙：年頭挨拶(理事長)

①年頭挨拶(病院長)

②新任Dr.の医師紹介

合同慰霊祭を行いました

③クリーンウォーキングを  
開催しました

大忘年会を行いました

④医療密着24時(医療事務課)

⑤冬期感染予防啓発イベント

地域連携懇談会

⑥コラボレーション企画

⑦外来診療担当表

## 2017年理事長年頭あいさつ

社会医療法人財団白十字会  
理事長 富永 雅也



皆さま、明けましておめでとうございます。健やかに新しい年をお迎えになったことと存じます。

昨年も、いろいろな出来事が起こりましたが、私にとって一番記憶に残ったのはリオのオリンピックでした。当初、準備不足やジカ熱の問題などで開催すら危ぶまれた大会でしたが、日本は史上最多となる41個のメダルを獲得し、4年後の東京大会への期待を膨らませました。

男子陸上400mリレーでは走力やバトン渡しに磨きをかけ、強豪アメリカを抑え歴史的な銀メダルに輝きました。そんなチームプレーを振り返ってみますと、男子体操、女子卓球団体、水泳のメドレーリレーなど、団体種目でのメダリストたちが口にしていた言葉が印象的でした。「〇〇先輩を手ぶらで返すわけにはいかなかった」、「チームのためにも、絶対にメダルを取りたかった」という言葉です。自分のためだけではなく、仲間のため、誰かのために全力を尽くすことで、チームの連帯感から高いモチベーションとパフォーマンスが生まれることを証明しました。

白十字会は3000人近いプロフェッショナル集団です。医療現場、介護現場において職種を超えてチーム医療を推進し、多角的な視点から患者さんに向かい合い、市民の皆様から信頼を得られるよう努めて参りました。

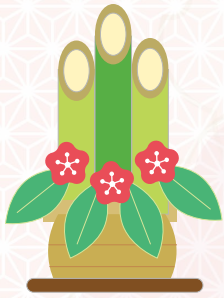
本年は同時改定を来年に控えて、厳しい生き残り競争が繰り広げられていくことと思われませんが、白十字会は今まで通り、堂々とチーム医療、チーム介護を推進し、ユマニチュードなどの新しい技術を導入し、市民の皆様の信頼に応える努力を続けて参りたいと思います。

本年が、皆様にとっても、白十字会にとっても良い年になりますように祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。







## 2017年病院長年頭あいさつ

佐世保中央病院 病院長 碓 秀樹



皆様、明けましておめでとうございます。

日頃の、佐世保中央病院に対する皆様のご理解、ご支援に対し  
心から御礼申し上げます。

今年もどうぞよろしく申し上げます。

昨年、2016年は、いろいろな出来事があった一年でした。1月末の佐世保で記録的な大雪の際は、交通機関が麻痺し皆様も大変だったことと思います。当院でも3-4日間病院に泊まり込んで勤務した職員、片道5時間以上かけて歩いて来た職員など、休む職員は一人もなく、皆が笑顔で仕事してくれている姿は、とても頼もしく感じられました。4月の熊本地震は衝撃でした。多くの被災者の治療に当たられた、現地の救急病院の先生は、“常にあらゆる非常時を想定して訓練を繰り返し継続することが最重要だ。”と話されていました。当院では毎年9月に大規模災害訓練を実施していますが、さらに昨年の11月、当院も被災した際の模擬訓練を行いました。今まで見えなかった問題点が浮き彫りとなりました。今後も訓練を繰り返し、非常時に地域の救急病院として役割を果たせるようしっかり準備していきたいと思います。8月のリオオリンピック・パラリンピックでは、多くの感動をいただきました。勝者の涙にも敗者の涙にも、ともに胸が熱くなりました。そして強く結束したチームは、とても眩しく映りました。医療の現場で“**チーム医療**”という言葉が用いられて久しくなります。元々は医療スタッフ間の“**チーム**”を意味し、医師だけでなく医療スタッフ皆で一つの“チーム”となって、患者さんを支える医療のことでした。私はさらに、医療スタッフ、患者さん、ご家族さらには社会（行政や地域）が、一つの“チーム”となって、一人一人の患者さんの治療や介護に当たる医療が、これからの真の“チーム医療”だと考えます。そのためには、お互いを尊重し合い、信頼し合うことが、何よりも大切だと考えます。

2016年は、患者さん、ご家族から病院・職員に対したくさんの“**ありがとう**”の言葉をいただきました。大変励みになります。ありがとうございました。

佐世保中央病院は、今年も地域の急性期病院として、①救急医療 ②がん治療 ③各種専門医療 ④在宅医療（地域医療連携の推進） ⑤予防医学 に力を注いでまいります。そして地域の皆様から信頼をいただけるように、全職員一丸となって安全で高度な、そして優しい医療・看護の提供を目指していきます。今後も変わらないご支援をお願いいたします。

2017年が皆様にとりまして、すばらしい一年となりますようにお祈り申し上げます。



## 新任Dr.の紹介

①診療科 ②出身大学 ③卒業年 ④出身医局

- Ⓐ 医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？
- Ⓑ 趣味、または特技を教えてください。Ⓒ 自己PRをお願いします。
- Ⓓ 最後に患者様へ何か一言お願い致します。

うおたに しげお  
魚谷 茂雄Dr.

- ① 内科(非常勤) ③ 昭和63年
- ② 長崎大学 ④ 長崎大学 医学部 第一内科

- Ⓐ 臨床・研究の両面からアプローチできる学問に魅力を感じ医師を志望しました。また内科では患者様に病気について説明することができ、教育的要素の占める割合が高い事で選択しました。
- Ⓑ スポーツ観戦
- Ⓒ 患者さん、スタッフへの分かりやすいコミュニケーションを心掛けています。
- Ⓓ 患者さん一人ひとりの病態・ライフスタイルに沿った診療を目指します。

ならはら しゅん  
檜原 峻Dr.

- ① 歯科(非常勤) ③ 平成25年
- ② 長崎大学 ④ 長崎大学 歯科部

- Ⓐ 食べるのが大好きで気づいたら歯科医を目指していました。
- Ⓑ 最近始めたトライアスロン
- Ⓒ とにかく明るい！
- Ⓓ お口のことなら何でも聞いてください。



## 白十字会グループ合同慰霊祭

平成28年10月1日にアルカスSASEBO中ホールにおいて白十字会グループ合同慰霊祭を執り行いました。平成27年6月から平成28年5月までの1年間に亡くなられた方は、当法人グループ全体で580名いらっしゃいました。今年度からは当法人の訪問看護ステーションをご利用されお亡くなりになった方々を含め、ご遺族の皆様へご案内申し上げましたところ、150名の方にご参列いただきました。故人に思いを馳せながら献花を行った後、佐世保市民管弦楽団による献奏、カトリック三浦町教会の中村神父による講話があり、時折涙ぐみながら聞き入っている方もいらっしゃいました。

今後の医療の発展のため献体にご協力いただいた故人らへにご遺族の皆様へ深く感謝申し上げるとともに、心よりお悔やみ申し上げます。





# クリーンウォーキングを開催しました

平成28年11月12日、街を清掃しながら健康的にさわやかな汗を流す、クリーンウォーキング2016が開催されました。秋空広がるいい天気にも恵まれ、90名の職員とその家族が参加しました。この催しは健康増進と地域への恩返しを目的に行っているもので、ゴミを拾いながら、家族や職場仲間と楽しい時間を過ごすことができました。今後もさまざまな形で社会貢献活動を継続していきます。

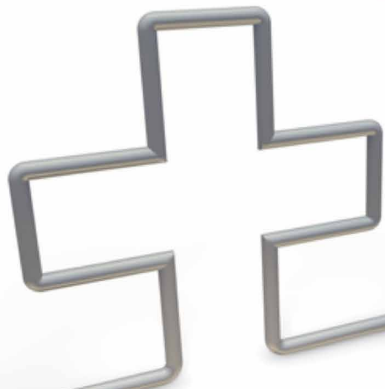


# 佐世保中央病院 大忘年会を行いました

平成28年12月13・14日に佐世保中央病院の大忘年会を行いました。

日頃よりお世話になっているボランティアの方々へ感謝の意を込めてボランティア表彰や永年勤続表彰などの表彰を行いました。また医師や各種コメディカルなどの多くの職種が余興に参加しました。会場は大きな歓声に包まれ参加者からはたくさんの笑顔が見られました。一年間の労をねぎらう忘年会となりました。





# 部署密着24時!!



## 医療事務課(外来医事係)

### 【部署の紹介】

医療事務課(外来医事係)は「病院の顔」として最初(受付)と最後(会計)に患者さんと接し、病院の印象を左右する大変重要な部署でもあります。いつも「笑顔と心」を忘れずに、患者さんが安心・信頼して受診していただけるような環境作りに努めています。

### 【業務紹介】

外来医事係には3つの班があり、それぞれが異なる業務を遂行しています。

### タイムスケジュール

- 8:15 朝礼
- 8:30 始業  
電話受付・受付・医療費の計算・会計・書類の預かり 等の各係りの担当業務
- 12:00 休憩
- 13:00 電話受付・受付・医療費の計算・会計・書類の預かり 等の各係りの担当業務  
会議及び委員会等への出席  
翌日の外来業務の準備  
当日の締め処理 等
- 17:30 終業

### 医療事務課(外来医事係)業務内容

外来班	受付	診察申込処理、受診患者受付、保険証確認、診察券発行 等
	コールセンター	診療電話予約 等
	オペレーター	外来診療費概算 等
	会計	会計処理、医療費相談の対応、会計管理 等
書類班	書類	書類作成・発行・交付処理、公費申請書処理 等
債権管理班	未収	債権管理、入院費預り金管理 等

### ★医療事務課より一言★

私達は患者さんならびにご家族の医療費におけるご不安の解消につながればとの思いから、高額療養費制度の案内や療養中のお問い合わせや相談などをお受けしています。また、受付やオペレーターは迅速かつ正確さを、コールセンターでは「声で笑顔を伝える」をモットーに業務を遂行しています。患者さんならびにご家族に少しでも役立つ情報を発信したいと思っておりますので、お気軽にお声掛けください。

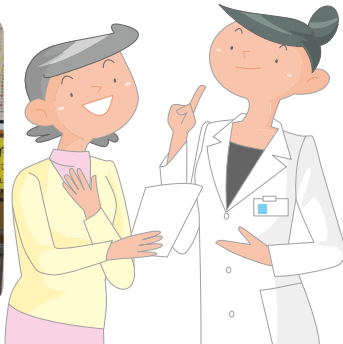


# 冬季感染予防啓発イベントを開催しました

平成28年12月2日(金)、「冬季感染予防啓発イベント」を開催しました。

正面玄関にて、来院された方約600名に手指消毒の声かけと「冬季感染予防7か条」のチラシとマスクの無料配布を行いました。

今年は全国的に早い時期からインフルエンザの感染が広がっています。まだまだこれから感染が拡大していくことも予想されます。その前にこの「冬季感染予防7か条」をよく読んでいただき、市民の皆さま一人ひとりの意識と行動で冬の感染症の流行を少しでも予防しましょう。



## 冬季感染予防 7か条

**は** 吐いた！下した！熱が出た！は感染症を疑って！

- 嘔吐・下痢やノロウイルスなどの感染性病原体の汚染に可能性があります。発症の際はエチケット袋を付帯の上、受付でお申し出下さい。
- 発熱はインフルエンザなどの感染症の可能性があります。発熱時はマスク着用し、受付で申し出て下さい。

**く** クシャミや咳が出るときは咳エチケット！

- インフルエンザなどの感染症はクシャミや咳のしぶきで広がります。咳が出るときはマスクをしましょう。マスクがないときは肘でおおえましょう。手のひらで覆ったときは手を洗います。

**じ** 十八歳以下の面会はご遠慮下さい。

- インフルエンザやアロウィルス感染症にも感染や発症、伝染や広がりがおそれられ入浴がかならず必要とし、必ず感染予防の観点から遠慮をお願いします。この方は感染症から感染させる可能性があります。入室中の感染者が感染すると認定化することがあります。当院では18歳以下の方の面会はご遠慮いただいております。

**う** うがい手洗い忘れずに！

- うがいや石鹸での手洗いは感染症防止に効果的な対策です！トイレの後や食事の前の手洗いは感染性予防の予防になります。お出掛け後の手洗いうがいはインフルエンザや長年などの予防になります！

**じ** 充分休養！栄養補給！過度な運動！

- 疲労感や寒気がしやすくなると、免疫が落ちて感染病に感染する力が弱くなります。過度に疲る、バランスよく栄養を摂り、お休むを心がけて、お体を丈夫に保ちます。

**か** 家族みんなで感染予防！

- お孫さんや若い方、お孫さんや若い方がインフルエンザをもらって入院することもあります。ウケテックや咳エチケット、手洗いや家族みんなで手洗いで予防しましょう！

**い** インフルエンザや胃腸炎、病気の人には命取り！

- 入居されている高齢者がインフルエンザやノロウイルスに感染すると、場合によっては重症化のリスクが高くなる可能性があります。体調不良の際のご面会にはご遠慮下さい。また訪問時はマスク着用、病室入口で手消毒するようお願いいたします。ノロウイルス感染、生もの産し人はご遠慮下さい。

一人一人の意識と行動で冬の感染症の流行を防ごう！

社会医療法人財団 白十字会

# 第2回 佐世保中央病院 地域連携懇談会を開催しました



平成28年9月16日(金)、当院において地域連携懇談会を開催しました。日頃よりお世話になっている地域医療機関の方々に当院についてさらに知っていただき、親睦を深めることを目的としてご案内しましたところ、約160名のご参加をいただきました。懇談会では、消化器内視鏡科・心臓血管外科の講演や各診療科の医師紹介を行いました。その後の懇親会では、地域の医療関係者の方々との交流を行い、大変有意義な会となりました。



地域医療支援病院として今後尚一層、地域連携の充実を図り、地域医療に貢献して参ります。

## コラボレーション企画

住みよい地域づくりのために健康に関する情報をお届けする

# はじめの一步 身近な医療を考えよう

医療・介護における最新の情報や白十字会の取り組みを  
分かりやすくお伝えいたします。ぜひご覧ください。

**TVS テレビ佐世保**  
TVS SASEBO



社会医療法人財団  
**白十字会**

★『テレビ佐世保』毎月 **第1・第2 水曜日 19:00~**



**長崎新聞**



社会医療法人財団  
**白十字会**

★『長崎新聞』



毎月 **第2 水曜日**

### 企画の経緯

この度、テレビ佐世保様と長崎新聞様のご協力で、月に2回、1回5分程度の健康講座のコーナーと月に1回の雑誌掲載を担当させていただくことになりました。

医療費が高騰している現在、これに加えて認知症の激増が危惧されています。認知症になってもこの街「佐世保」で住み続けられるように、医療・介護の最新の情報や取り組みをわかりやすくお伝えるコーナーです。

わが国の税収はバブル最盛期の約60兆円を最後に、以後30年近くそれを超えていません(現在約57兆円)。一方、この30年近くで高齢化は進み、医療・介護の需要は増え続けています。これに認知症の激増が必ずや追い打ちをかけます。番組でお伝えすることは、われわれの医療・介護を守るためにもぜひ皆さま方にご理解いただき生活の一助としていただきたい内容です。

# 佐世保中央病院 外来診療担当表 1

平成29年1月

科名	役職	氏名	月		火		水		木		金		科名	役職	氏名	月		火		水		木		金			
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後				午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器	診療部長	副島 佳文			○	○	◎						循環器内科	副院長	木崎 嘉久	◎				□		◎			□		
	副部長	小林 奨												部長	中尾功二郎				□		◎						
内分泌	非常勤	藤山 薫											外科	医 長	落合 朋子	□			□								
	非常勤	安部 恵代						第2週						医 員	吉村 聡				□								
骨代謝	非常勤	藤山 薫											胸部	非常勤	矢野 捷介				○								
	医 員	上条 将史		◎										病院長	榎 秀樹	○				○							
腎臓内科	診療部長	竹尾 剛	□				◎						消化器	診療部長	佐々木伸文												
	非常勤	中村 龍文								隔週				部長	榎 秀樹												
神経内科	副院長	中村 龍文											外科	医 員	原 亮介	○											
	非常勤	植木 幸孝	□	□			○							非常勤	大石 海道												
リウマチ膠原病センター	センター長	寺田 馨											整形外科	非常勤	大坪 一浩												
	部長	荒牧 俊幸	□								◎			名誉顧問	國崎 忠臣	□											
糖尿病センター	医 員	辻 創介											脳神経外科	非常勤	菅村 洋治												
	非常勤	一瀬 邦弘												診療部長	宮原 健次												
消化器内視鏡センター	非常勤	岩本 直樹											心臓血管外科	副院長	北原 博之	○											
	非常勤	魚谷 茂雄												副部長	谷口真一郎												
眼 科	副部長	和田 光代	○										皮膚科	部長	中路 俊												
	非常勤	●眼科												診療部長	山田 克彦												
人工透析センター	医 員	上条 将史	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小児科	部長	山口 宣久												
	非常勤	林 和歌	○	○	○	○	○	○	○	○	○			部長	山田 克彦												

# 佐世保中央病院 外来診療担当表 2

平成29年1月

科名	役職	氏名	月		火		水		木		金	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
認知症疾患医療センター	センター長	井手 芳彦	○		○		○		○			□
インターフェロン	副センター長	木 下 昇										
	副診療部長	木崎 嘉久			第2,4週							
ベースメーカー	部長	中尾功二郎			第2,4週							
	病院長	榎 秀樹										
乳 腺	診療部長	佐々木伸文			第2,4週							○
	部長	草場 隆史					第2週					
ストーマ	非常勤	菅村 洋治										
	副部長	中路 旬										
下肢静脈瘤	担当医											○
	医 員	上条 将史										○
腹膜透析	非常勤	近藤 英明										隔週
	非常勤	國崎 忠臣										○
緩和医療	非常勤	國崎 忠臣	○									○
	非常勤	國崎 忠臣										○
健康増進センター	健康増進センター長	中尾 治彦										○
	部長	寺園 敏昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般健診	医 長	寺園 敏昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	医 員	本多 幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健診産婦人科	非常勤	永尾奈津美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別顧問	石丸 忠之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
乳がん検診	担当医		○									○



【受付時間】 8:30～11:30 13:30～16:30  
 【診療時間】 9:00～12:00 14:00～17:00  
 【予約専用番号】 すべての診療科において時間帯予約をとっております。  
 受診希望の方は、事前にご連絡いただき予約をお取りください。

☎◀再診/紹介状のない方▶      ☎◀紹介状のある方▶

0800-7000-888 (コールセンター)      0120-33-8293 (地域医療連携センター)

・救急部は24時間体制です。  
 ・医師の出張等により休診する場合がございます。

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。